



日本ジュニアゴルフ協会主催競技会 共通規定

<地区大会共通 競技規定>

「競技規則」

JGAゴルフ規則、JJGA地区大会共通 競技規定及び特別競技規則、各会場特別競技規則を適用する。

「競技委員会の裁定」

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の決定は最終である。

※競技委員会の決定については、保護者等からの抗議、その他クレームは一切受け付けない。

「使用球」

使用する球は R & A が発行する最新の適合リストに掲載されていなければならない。

※ワンボールルールは適用しない。

「ドライビングクラブ」

プレーヤーがストロークを行うために使うドライバーは R & A が発行する適合ドライバーヘッドリストに記載されているクラブヘッド(モデルやロフトで識別される)を持つものでなければならない。

この条件に違反したクラブでストロークを行うと競技失格となる。

「クラブフェースの溝」

12～18 歳男女の部において、プレーヤーがストロークを行うときは 2010 年 1 月 1 日に施行された用具規則の溝とパンチマークの規格に適合するクラブを使用しなければならない。この条件に違反したクラブでストロークを行うと競技失格となる。※8～11 歳男女の部は溝とパンチマークの規制は適用しない。

「プレーのペース」

1 組目が 4 人組の場合 ハーフ 2 時間 15 分、3 人組の場合は 2 時間 5 分のペースを維持してプレーをすること。

2 組目以降は 1 ホール以上間隔を空けた場合にペナルティの対象となる。

プレーの進行が遅い場合、不当に遅くしているプレーヤーを特定し、そのプレーヤーに 1 罰打を科す。

「直前のパッティンググリーン上やその近くでの練習を禁止する」

2 つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。

- ・終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。
- ・終了したばかりのパッティンググリーンの表面を擦る、また球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。

「プレーの一時中止と再開」

険悪な気象条件にあるため、委員会の決定により競技を一時中断する場合は、サイレン、放送、無線などで合図をするので、ボールをマークして競技委員の指示に従うこと。競技の再開も同様とする。

「最大スコア」

最大スコアをパーの 2 倍のスコアとする。最大スコアに達した場合は、そのホールのプレーを終了すること。

「競技終了時点」

表彰式を終了した時点をもって、競技を終了したものとみなす。

<地区大会共通 特別競技規則>

1. アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. 修理地は青杭、白線、またはその両方をもってその限界を標示する。
3. U字排水口はジェネラルエリアの一部として扱われ、ペナルティーエリアではない。
4. 人工の表面を持つ道路に隣接しているU字排水口は、その道路の一部として扱う。
5. バンカー内の流水跡は修理地とする。
6. プレーヤーの球が見つからない、あるいはアウトオブバウンズであることが分かっている、または事実上確実な場合、そのプレーヤーはストロークと距離に基づいて処置するのではなく、次のように処置することができる。2 罰打を受け、プレーヤーはこの救済エリアに元の球か別の球をドロップすることによって救済を受けることができる(規則 14.3 参照)

推定した 2 つの基点

- a.) 球の基点: 元の球がコース上に止まったと推定される地点。または、アウトオブバウンズとなったときにコースの境界線を最後に横切ったと推定される地点。
- b.) フェアウェイの基点: 球の基点に最も近く、しかし、球の基点よりホールに近づかない、プレーしているホールのフェアウェイの地点。

基点に基づく救済エリアのサイズ

ホールから球の基点を通る直線(加えて、その直線から外側へ 2 クラブレンジスの範囲)。
そしてホールからフェアウェイの基点を通る直線(加えて、その直線からそのフェアウェイ側へ 2 クラブレンジスの範囲)。しかし、次の制限がある。

救済エリアの場所の制限

ジェネラルエリアでなければならない。そして、球の基点よりホールに近づいてはならない。
プレーヤーは見つからない、あるいはアウトオブバウンズであることが分かっている、
または事実上確実である暫定球について救済を受けるためにこの選択肢を使うことができる。

7. プレーヤーが「すべてのプレーヤーに期待される行動(規則 1.2a)」に違反した場合、最初の違反は注意。
2 回目は警告、3 回目は失格とする。
8. 各会場の特別競技規則は「地区大会共通 特別競技規則」よりも優先する。

<地区大会共通 大会注意事項>

「競技者」

1. 競技者はルール、エチケット・マナー及び大会要項、JJGA 競技規定/競技規則/服装規定を理解し出場すること。また、目土袋・グリーンフォーク・ルールブックを必ず持参し、競技中は必ず帽子を着用すること(クラブハウス内は脱帽すること)。
2. **スタート時刻の45分前**にはJJGA受付及びゴルフ場受付を済ませ、**10分前**には必ずティーイング・エリア付近で待機すること。
3. 競技中、携帯電話の所持を認めるが、電源 OFF・マナーモード・プレーの妨げには注意をする事。
ただし、ルール上のトラブルや体調が悪くなった場合の緊急時のみに「JJGA 緊急連絡先」、「ゴルフ場」、「保護者」に連絡することができる。
4. パー3 のホールにおいて、後続組がティーイング・エリアに到着している場合は、ボールをマークして取り除き後続組に打たせること。ただし、前の組との間隔が開いているときはこの限りではない。
5. 競技中、競技者は部外者を近づけないよう十分注意すること。これを怠ると、規則第8条により罰せられる場合がある。ただし、8・9 歳の部の帯同キャディーをしている保護者は除く。
6. 9 ホール終了後の待ち時間は正規のラウンド中となる。保護者からアドバイスを受けること、練習器具を使用することは認めない。
7. 表彰式は各部門のアテスト終了後に行う。
※優勝者は必ず表彰式に出席すること。欠席した場合、賞状及び楯の贈呈はない(郵送も不可)。
8. 病気、その他の理由で欠場する場合は、必ずマイページよりキャンセル申請をすること(電話受付不可)。
また、前日(土日祝を除く)の17時以降の欠場は、マイページからのキャンセル申請に加え、開催コースへ電話で報告すること。**※無断欠場した場合、以後の大会への出場を認めない。**
9. 大会当日に欠場する場合、ゴルフ場キャンセル費が掛かる場合がある。キャンセル費は後日、ゴルフ場より直接、選手各自に請求となる。
10. 大会前日、及び当日に風・大雨・雷・雪などの天災により大会開催が不可能となった場合、ゴルフ場及び競技委員長の判断により大会は中止とする。また予備日を設けない場合、エントリー費は預かり金へ移行とする。
ただし、トップスタートの組が 1 ホールでもプレーを進行した場合は大会を開催したものと同みなし、その後中止となった場合でもエントリー費の返還はない。また、9 ホールの競技が終了した時点で競技成立とする。

「2 ボールプレーの注意点」

1. 必ず、どちらの球をカウントしたいか(処置が正しいと思う方の球)を、マーカー又は同伴競技者に告げてからプレーすること。
2. 2 ボールとも正しい処置でスコアが異なる場合、後から良いスコアの球を選択することは出来ない。**どちらの球をカウントしたいかを告げず、2 ボールプレーをした場合「初めにプレーをした球」のスコアが採用される。**
3. 2 ボールプレーをした場合は、**必ずスコアカード提出前に競技委員へ報告**すること。
報告がなかった場合、競技失格となる。

「練習ラウンド」

練習ラウンドにおいて、他のプレーヤーの進行の妨げとなる為、練習球(複数球)を打ってはならない。発見した場合、大会出場を取り消し、以後の大会参加も認めない。また、他のエチケット・マナー違反も同様とする。

「保護者」

1. デニム、Tシャツ、ジャージ、スウェット、サンダル、その他開催ゴルフ場が禁止する服装での入場は禁止とする。
JJGA 服装規定を厳守すること。
2. 保護者及びギャラリーは1番、10番ティーイング・エリア付近及び9番、18番グリーンの付近以外は、コース内の立ち入りは禁止とする。ただし、全ての観戦が不可の会場もある(その場合は各会場の要項に記載)。
3. ギャラリーの事故について、主催者及びゴルフ場は一切責任を負わない。
4. ティーイング・エリア及び練習グリーンへの立ち入りは禁止とする。
5. ゴルフ場内での指定場所以外での喫煙、飲食、睡眠を禁止とする。
6. 競技失格等の競技委員長の決定への抗議及びその他のクレームは一切認めない。
7. 以上項目、またエチケット・マナーの悪い方は、競技委員長の判断により即刻退場とする。

2026 年 1 月 5 日 更新